

## 事業実施状況報告書

団体名	特定非営利活動法人陽だまりの会
事業名称	精神障害者に関する地域交流事業（交流会と講演会）
事業実施期間	2025年 4月 1日 ～ 2026年 3月 31日
1. 実施内容 (実績)	<p>(1) 実施した事業内容</p> <p>2025年11月1日(土)11:30～14:00 地域ふれあいまつり(交流会)を実施 場所:陽だまりの会敷地内 内容:陽だまりの会を含む地域の障害者事業所の模擬店、地域包括支援センターや管理栄養士のボランティアグループ「萌」が実施する相談コーナー、ゲーム大会(グランドゴルフの道具を使ったニアピンゲーム)、元利用者である榎野梓さんによる演奏とまどれーぬ(ワークショップちやぶの製菓部門)利用者を含めた合唱等。</p> <p>2026年3月20日(金・祝)14:00～16:00 市民講座(講演会)を実施 場所:ラポールひらかた 大研修室 講師:報告者 ピアサポーター4人、コーディネーター 籠本孝雄(大阪精神医療センター前院長) テーマ:ピアサポーターって何? ～心の病を持った方たちの話を聞いてみませんか～</p>
	<p>(2) 対象者・参加者(例:枚方市内に住む小・中学生32名 など具体的に)</p> <p>地域ふれあいまつり 近隣の住民(子供も含む)等、143人参加</p> <p>市民講座 枚方市民等71人参加</p>
	<p>(3) 実施体制(事業を実施した人員体制や支援者や他団体との連携状況を記入すること)</p> <p>地域ふれあいまつりは、法人職員・会員・利用者中心に運営企画し、近隣の事業所・団体・地域包括支援センターなど7団体が参加してくれた。また、交北校区コミュニティ協議会は、チラシを全自治会で回覧してくれる等の宣伝に協力してくれた。また、山田中学校には、椅子の借用をお願いした。</p> <p>市民講座は、法人職員(ピアサポーターを含む)・会員で企画運営した</p>
	<p>(4) スケジュール(事業開始から終了までのスケジュールを記入すること)</p> <p>地域ふれあいまつりは、4月に職員の実行委員を決定し、8月以降に会員・利用者から募集した実行委員も含めて何度か実行委員会を開催し、内容を決め、各関係団体と話し、10月以降は地域に対する宣伝もおこない当日の実施につなげた。</p> <p>市民講座は、4月以降に法人の研修委員を中心に何度か会議を開き、実施方法・回数・講師について検討した。結局当事者の話を聞く会とすることにし、ピアサポーターという存在を知ってもらうことも含めて、陽だまりの会のピアサポーターを中心におこなうこととした。チラシを作成し、1月以降マスコミ・関係機関等に配布を開始。2月から受付を開始し、3月20日の開催となった。申込者より聴覚障害者への配慮を求められた為、手話通訳を手配した。</p>

<p>2. 広報周知の方法 (実績)</p>	<p>(事業周知の方法を記入すること)                  地域ふれあいまつりは、ミニコミを作成し、職員・利用者で近隣の住宅にポスティングを行った。また、交北校区コミュニティ協議会にお願いして、所属する自治会で回覧してもらった。また、ホームページや SNS でも周知した。</p> <p>市民講座は、チラシを作成し、医療機関や相談機関等に送り、利用者への周知をお願いした他、生涯学習市民センターにも配架と掲示をお願いした。広報ひらかたの短信コーナーにも載せてもらい、マスコミには、枚方市の記者クラブにチラシを持参したほか、各新聞社の文化欄担当窓口あてにも直接送付し、一社からは問い合わせがあった。</p> <p>53 件のアンケートで、知ったきっかけを問うたところ、チラシが 22 件と最も多かった。また、知人から聞いた等の口コミも多かった。</p>
<p>3. 事業実施による効果</p>	<p>(1) 事業実施により得られたと考えられる効果                  地域ふれあいまつりは、好天に恵まれ 140 人を超える参加者があり、各事業所の模擬店も盛況でほぼ完売だった。この間の継続した取り組みで、地域での一定の浸透はできていると思われる。</p> <p>市民講座は、当事者の話を聞き、ピアサポーターについて知ってもらうという比較的地味なテーマであったが、70 人以上の参加があり、陽だまりの会の職員の参加も加えると、会場は満席に近い状態となった。参加者の満足度も高かった。精神障害者の理解とピアサポーターという存在の理解に一定寄与できたと考えている。</p> <p>(2) 効果の確認方法                  地域ふれあいまつりについては、参加事業所や団体からは好評を得ている。また、どの模擬店もほぼ完売で、参加者も楽しんだと考えている。</p> <p>市民講座は、アンケートを実施した。参加者 71 人中 53 人が回答していて、約 75% の回答率だった。回答内容も「とても良かった」と「良かった」を合わせるとアンケート全体のほぼ 95% 以上に達していた。</p>
<p>4. その他</p>	

事業収支決算書

団体名	特定非営利活動法人陽だまりの会
補助対象事業の名称	精神障害者に関する地域交流事業（交流会と講演会）
事業実施期間	2025年 4月 1日～ 2026年 3月 31日

【収入の部】

項目※1	予算額（円）	決算額（円）	内容説明（積算根拠等）
枚方市補助金（一般）（A）	50,000	29,859	補助金交付申請額（一般寄附）
枚方市補助金（団体希望寄附）（B）	55,000	55,000	補助金額（団体希望寄附）
自己資金	50,000	29,859	
合計（C）	155,000	114,718	

【支出の部】

項目	予算額（円）	決算額（円）	内容説明（積算根拠等）	
補助対象経費	人件費	10,000	0	
	謝金	100,000	85,750	地域ふれあいまつり演者5,000-、市民講座講師等謝金60,000-、手話通訳20,200-
	消耗品費	10,000	8,159	地域ふれあいまつりゲーム景品、市民講座講師等飲料水
	印刷製本費	20,000	13,109	ミニコミ誌色上質紙・市民講座チラシ
	使用料及び賃借料	15,000	7,700	地域ふれあいまつり音響装置、市民講座ラポール会議室
小計	155,000	114,718		
補助対象外経費				
小計	0	0		
合計（D）	155,000	114,718		

- ・【項目】【予算額】は事業収支予算書と相違の無いようにしてください。
- ・収入の合計（C）＝支出の合計（D）となるように記入してください。
- ・枚方市補助金（一般）（A）と枚方市補助金（団体希望寄附）（B）を合わせて申請する場合：枚方市補助金（一般）（A）は、補助対象経費から枚方市補助金（団体希望寄附）（B）を除いた額に対して申請することができます。